

第91期棋聖戦挑戦者決定戦に勝利し、最年少タイトル挑戦を決めた藤井聡太七段。4日夜、東京都渋谷区の将棋会館（日本将棋連盟提供）



将棋の藤井聡太七段（17）は4日、第91期棋聖戦の挑戦者決定戦で勝ち、最年少タイトル挑戦を決めた。5番勝負出場時（8日開幕）の17歳10カ月20日は、屋敷伸之九段（48）が1989年

12月に記録した17歳10カ月24日を30年ぶりに更新。デビュー以来、活躍を続ける高校生プロが悲願の大舞台に立つ。（21面に関連記事）東京都渋谷区の将棋会館で4日に指された対局で、

永瀬拓矢二冠（27）を破った。藤井七段は棋聖戦5番勝負で、棋王、王将との三冠を持つ渡辺明棋聖（36）と対戦する。両者の対戦は2019年の朝日杯オープン戦で1度あり、その時は藤井七段が勝利した。

藤井七段は「（最年少は）意識していなかったが、そういう形になってよかった。すぐ5番勝負が始まるので、しっかり準備したい」と話した。最年少でのタイトル獲得は、屋敷九段が90年の棋聖戦で達成した18歳6カ月。棋聖戦の5番勝負は6～7月に行われ、藤井七段が勝った場合は奪取の記録も上回る。

藤井 最年少タイトル挑戦 将棋棋聖戦

なまえ【 】

ふじい そうた

- ① 藤井聡太七段が最年少タイトル挑戦を決めたのは何戦ですか。

		戦
--	--	---

- ② 5番勝負出場時の年齢は何歳ですか。

	歳		カ月		日
--	---	--	----	--	---

- ③ 藤井七段が対戦するのは誰ですか。

--	--	--	--	--

- ④ この記事の感想を書きましょう。